

図解

かんたん接続ガイド




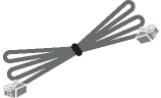

このガイドでは、VoIPの接続手順と注意事項をわかりやすく図解で説明しています。詳しい設定方法を知りたい場合や問題が生じた場合は、同梱の『VoIP-TAスタートアップマニュアル(富士通製 iA112S用)』をご覧ください。

ステップ






1 これから使うものを確認しよう


VoIP-TAはレンタル品です。VoIP-TA交換およびご解約時には、VoIP-TA一式のご返却をお願いいたします。内容物および箱は、捨てずに大切に保管してください。


梱包品に含まれているもの

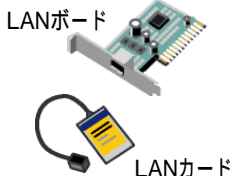
-  VoIP-TA本体 1台
 -  VoIP-TA置き台 (縦置き時使用) 1個
 -  LANケーブル 1本 ('ストレート' 'カテゴリ5,')
 -  電話線 1本
 -  VoIP-TA AC電源アダプタ 1個
- VoIP-TA(Voice Over IP-Telephony Adapter)は、IP電話アダプタとも呼ばれます。以降、この「かんたん接続ガイド」では、VoIP-TAと表記します。

お客様でご準備いただくもの

-  <パソコン>
LANポート  を実装しているパソコンをご準備ください。
-  <電話機またはFAX>
タイプ2でご契約の場合は電話機またはFAXはご利用できません。
-  <ADSLモデム>
お客様が従来からご使用のADSLモデムをブリッジモードに切り替えてください。ブリッジモードへの切り替え方は、別紙「ブリッジモード設定ガイド」をご覧ください。
-  <スプリッタ> お客様が従来からご利用のスプリッタ

 【LANポートの呼び名】
LANポートはネットワークコネクタ、LANコネクタ、ブロードバンドポート、LAN、イーサネット、LANポート、LAN端子、RJ-45コネクタ、などメーカーによって呼び方がさまざまです。

 **ご注意: (LANボード(LANカード)の取付け)**
LANボード(ノートパソコンではLANカード)をご購入された場合は、ハードウェアの取り付けと、関連するソフトウェアのインストールが必要です。ハードウェアの取扱説明書にしたがって、LANボードを使用できるようにご準備ください。



ID、パスワードをお手元にご用意ください

VoIP-TAの接続をはじめる前に、ご契約いただいたプロバイダ発行の、ADSLモデムの設定に使用する接続用認証IDと接続用認証パスワード、VoIP-TAの設定に使用するIP電話用認証IDとIP電話用認証パスワードがお手元にあるか、ご確認ください。ご不明な際は、ご契約いただいたプロバイダへお問合せください。

ご契約のプロバイダ発行の接続用認証ID		ご契約のプロバイダ発行のIP電話用認証ID	
ユーザ名	ドメイン名	VoIPサーバドメイン名 (VoIPサーバ名)	
..... @	VoIPドメイン名 (サービスドメイン)	
		VoIPユーザID	
		VoIPユーザパスワード	
		VoIP電話番号	
例)	abc-123@isp.ne.jp		

各接続用認証IDと接続用認証パスワードは「半角・英数」モードで入力してください。また、大文字小文字の区別をします。入力の際はご注意ください。

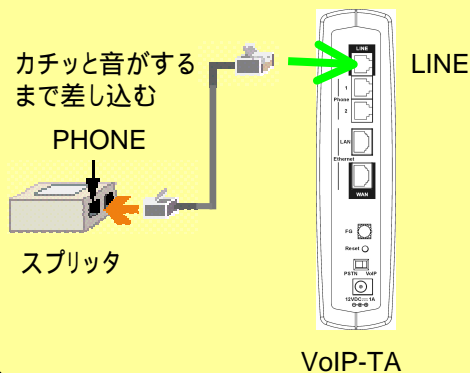
各機器を接続しよう

パソコンおよびADSLモデムの電源はOFFにして下図の接続を行ってください。
また、スプリッタとウォールジャックの接続、ADSLモデムとスプリッタの接続、ADSLモデムの設定を完了させてから下図の接続を行ってください。

【配線図(タイプ1)】

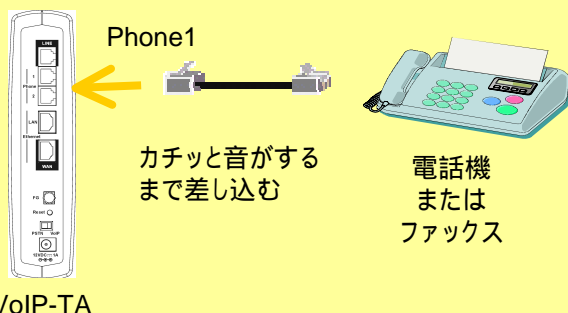
1 VoIP-TAとスプリッタの接続

VoIP-TAの【LINE】ポートとスプリッタの【PHONE】ポートを付属品の電話線でつなぎます。



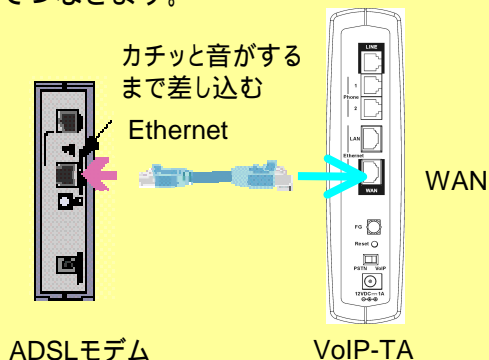
3 VoIP-TAと電話機、またはファックスの接続

VoIP-TAの【Phone1】ポートと電話機またはFAXを電話線を使用して接続します。また、電話機またはファックスを2台使用する場合は、VoIP-TAの【Phone2】ポートも同様に電話線をつなぎます。



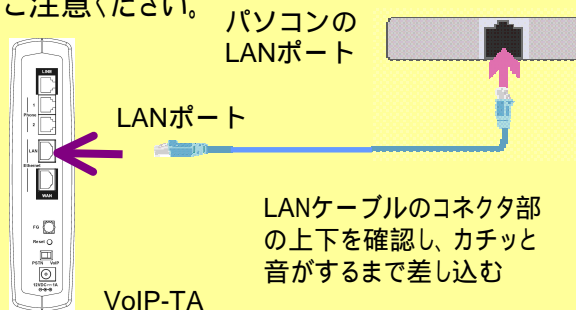
2 VoIP-TAとADSLモデムの接続

VoIP-TAの【WAN】ポートとADSLモデムの【Ethernet】ポート(機種によってポートの名称は違います)を付属品のLANケーブルでつなぎます。



4 VoIP-TAとパソコンを接続

VoIP-TAの【LAN】ポートとパソコンのLANポートをLANケーブルでつなぎます。無理に差し込むと故障の原因になりますのでご注意ください。

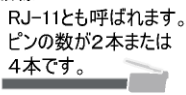


LANケーブルと電話線の見分け方

＜LANケーブル＞



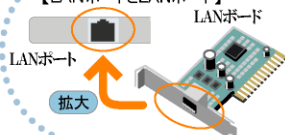
＜電話線＞



ピン

LANポートとLANボード

【LANポートとLANボード】



【LANポートのマーク】
使用されるパソコンのメーカーにもよりますが、パソコンのLANポートには、下図のマークまたはこれに類似するマークがついています。



5 機器の電源を入れる

下記の順番で、電源を入れます。
これで、各機器の接続は完了です。

ADSLモデム

VoIP-TA

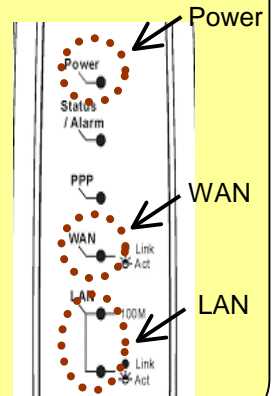
VoIP-TAに電源スイッチはありません。

電源スイッチの「ON」「OFF」は、AC電源アダプタをコンセントに抜き差しします。

パソコン

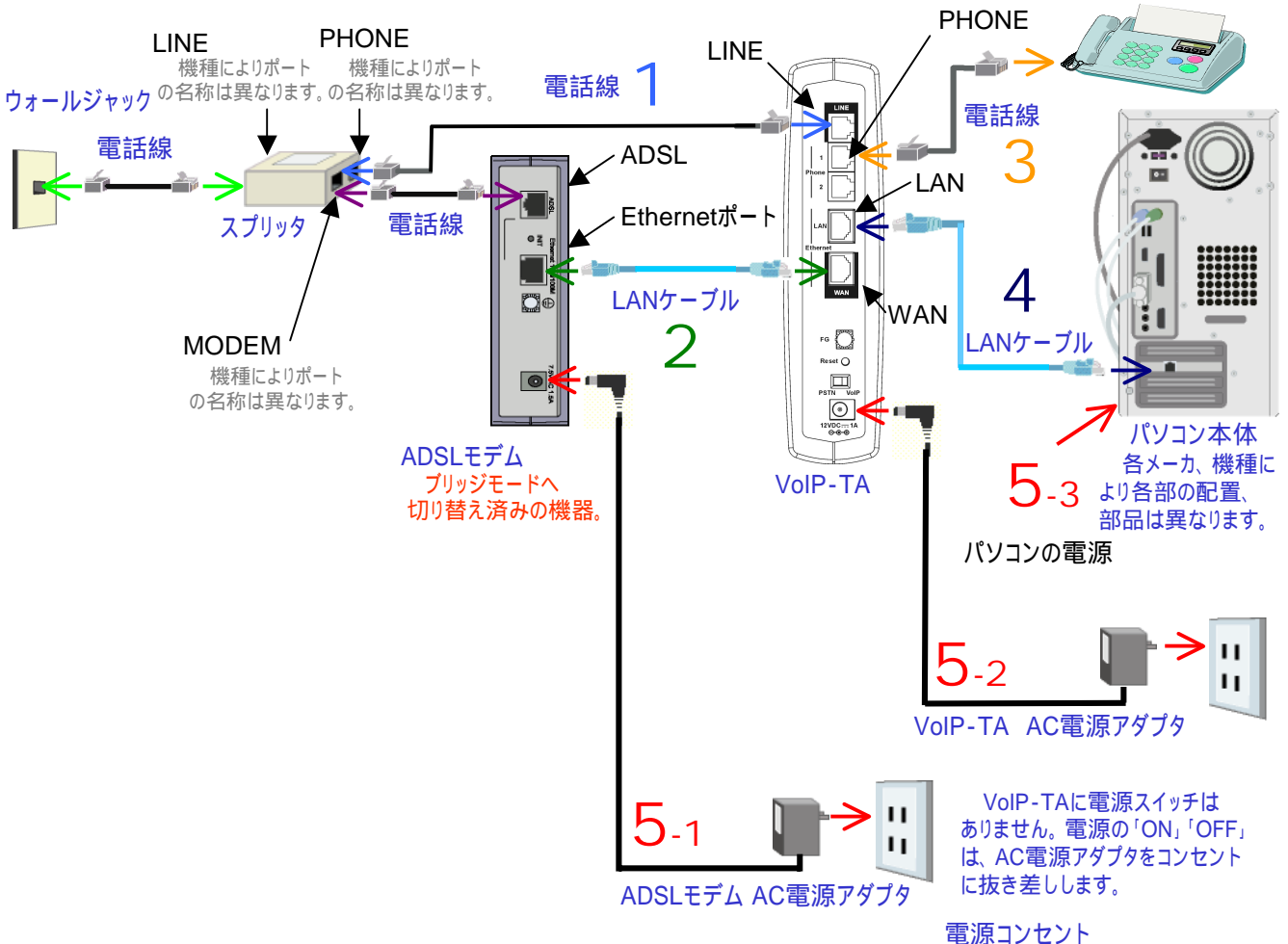
6 現在のVoIP-TAのランプ確認

Powerランプが点灯(緑)、LANランプおよびWANランプが点灯(緑)、または点滅(緑)であることを確認します。
詳しくはステップ7の「VoIP-TAランプの確認」をご覧ください。



電話機またはファックス

お客様がご契約された一般電話回線のダイヤル方式(DP/PB)と電話機のダイヤル方式(DP/PB)を同じ方式にしてください。



ADSLモデム AC電源アダプタ

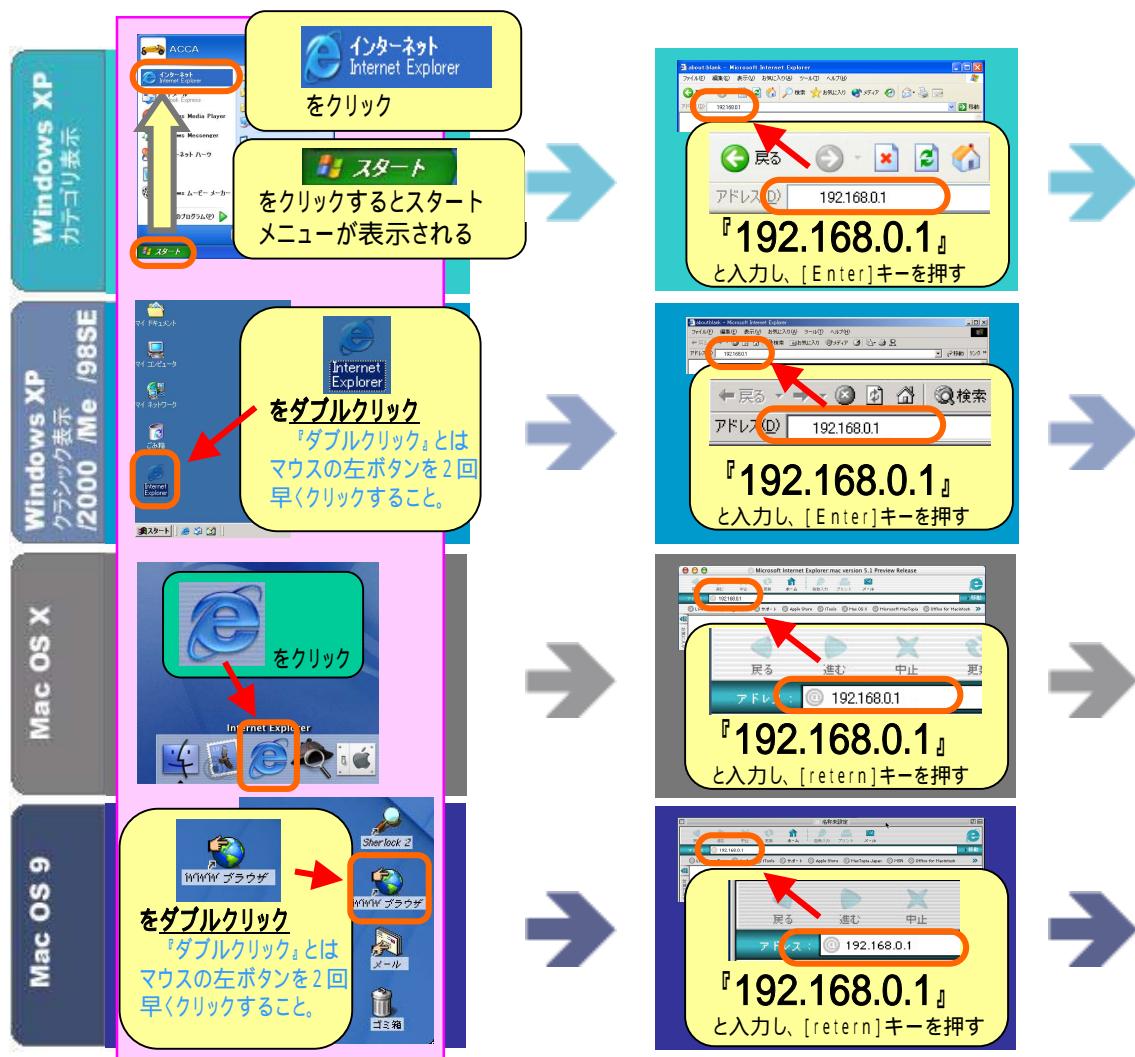
電源コンセント

ステップ 3

VoIP-TAにログインしよう

ブラウザを起動

VoIP-TAに接続するアドレスを入力



失敗した…?

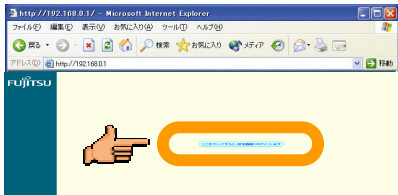
Internet Explorerを起動すると『接続ウィザード』が『ダイヤルアップ接続』の画面が表示される。

『接続ウィザード』が表示される場合は、接続ウィザード画面のキャンセルボタンを押し、もう一度『ステップ3』のはじめから操作してください。

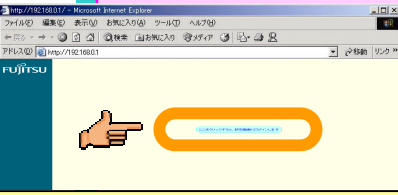
『ダイヤルアップ接続』の画面が表示される場合は、同梱品の「スタートアップマニュアル」7ページの『Windowsインターネットのプロパティの設定』をご覧ください、設定を行ってください。

ログインボタンを押す

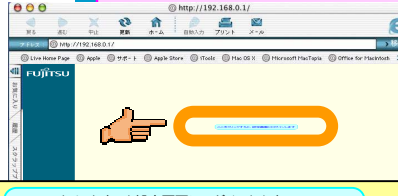
VoIP-TAにログイン



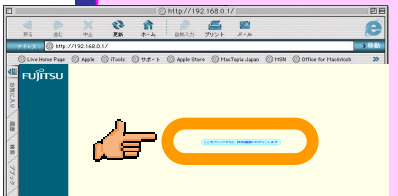
ここでクリックすると設定画面にログインします
をクリック



ここでクリックすると設定画面にログインします
をクリック



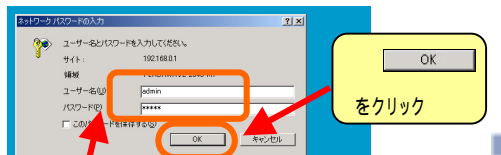
ここでクリックすると設定画面にログインします
をクリック



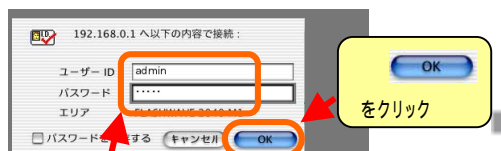
ここでクリックすると設定画面にログインします
をクリック



ユーザー名(U) :には, admin
パスワード(P) :には, admin
入力はすべて半角小文字, パスワードに入力した文字は'*'で表示される



ユーザー名(U) :には, admin
パスワード(P) :には, admin
入力はすべて半角小文字, パスワードに入力した文字は'*'で表示される



ユーザーID :には, admin
パスワード :には, admin
入力はすべて半角小文字, パスワードに入力した文字は'*'で表示される



ユーザーID :には, admin
パスワード :には, admin
入力はすべて半角小文字, パスワードに入力した文字は'*'で表示される

本紙表面

失敗した…?

富士通製 iA112SのWeb管理画面(この画面)が表示されない。
同梱品の「VoIP-TAスタートアップマニュアル」10ページの『第3章 VoIP-TAの設定』をご覧ください、VoIP-TAスタートアップマニュアルに従ってはじめから設定を行ってください。

VoIP-TAの設定をしよう

WAN側IPアドレス設定

MACアドレス 00:05:5d:00:89:79

WAN側IP設定

動作モード PPPoE

IPアドレス 10 . 1 . 1 . 1

サブネットマスク 255 . 0 . 0 . 0

デフォルトゲートウェイ 10 . 1 . 1 . 254

ホスト名

DNS自動設定 有効

プライマリDNSサーバIPアドレス 0 . 0 . 0 . 0

セカンダリDNSサーバIPアドレス 0 . 0 . 0 . 0

PPPoEユーザID

PPPoEユーザパスワード

PPPoEユーザパスワードの確認

保存

現在のWAN側IP設定

IPアドレス 10.1.1.1

サブネットマスク 255.0.0.0

デフォルトゲートウェイ 10.1.1.254

PPPoE接続状態

PPPoE設定状態 接続中

接続 切断

“接続中”もしくは“接続失敗” “接続”に表示が切り替わる

本紙表面

3

WAN側を設定する

[IPアドレス設定]-[WAN側IPアドレス設定]の動作モードを「PPPoE」であることを確認。

“保存”ボタンを押して“今すぐ装置の再起動を行います。”を選択。“”を選択。Step 5の画面に切り替わる。

PPPoEユーザID
PPPoEユーザパスワード
PPPoEユーザパスワードの確認
を入力。

ご注意: 入力するアルファベットの**大文字**
/**小文字**にご注意ください。
パスワードに入力した文字は、
『 』または『 * 』で表示されます。

VoIP-TAが再起動後、再度[IPアドレス]-[WAN側IPアドレス]画面を選択。PPPoE接続状態表示が“接続”になっていない場合には、画面下にある **接続** ボタンを押す。接続状態が“接続失敗” “接続”に表示が切り替わる。

設定内容の保存と再起動

変更内容の保存／装置の再起動

設定内容は変更されています。変更内容を有効にするには装置の再起動が必要です。

今すぐ装置の再起動を行いますか？

 今すぐ装置の再起動を行います。 後で装置の再起動を行います。

保存

『今すぐ装置の再起動を行います。』を選択し、**保存**をクリック。
設定内容の保存と再起動を行う。

再起動中.....

『再起動中.....』
の画面が表示。

設定内容の保存と再起動の処理中(約15秒間)は、VoIP-TAの電源を切らないでください。故障の原因となります。

約15秒 (設定内容を保存しています)

FUJITSU

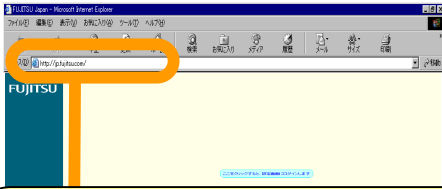
ここをクリックすると設定画面にログインします

の画面が出たら、「設定内容の保存と再起動」は完了。
設定された内容は、VoIP-の電源を切っても保存されています。

ここをクリックすると、設定画面にログインします

ステップ 6

インターネットに接続してみよう



Webページ画面が表示されれば、インターネットに正常に接続されています

インターネットの接続完了！



例えば、半角小文字で『jp.fujitsu.com』と入力し「Enter」キーを押す。

Macintoshの場合は、入力後[return]キーを押す。



失敗した……？

Webページが表示されない

「VoIP-TAスタートアップマニュアル」中の、Windowsをお使いの方は『2-3 ネットワーク設定の準備』3～6ページを、Mac OSをお使いの方は『2-3 ネットワーク設定の準備』8～9ページをご覧ください、設定を行ってください。

VoIP-TAランプの確認

VoIP-TAが正常に動作しているかランプを確認しよう

正常

Power

点灯 (緑)

Status/Alarm

点灯 (緑)

PPP

「接続中」の状態

点灯 (緑)

WAN

点灯 (緑)

LAN(100M)

パソコン接続の状態

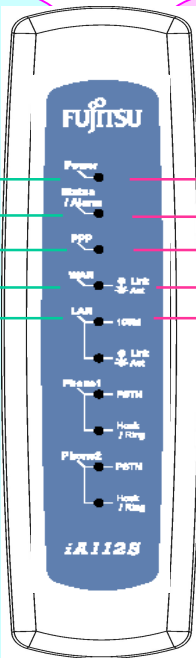
点灯 (緑) : 100Mbps

消灯 : 10Mbps

LAN(Link/Act)

パソコン接続の状態

点灯 (緑) : パソコンとリンク確立



× 異常

Power 消灯

電源が入っていません、ACアダプタがコンセントとVoIP-TAに正しく差し込まれているか確認してください。

Status/Alarm 消灯

サーバーに未登録です。電源を一度切って入れなおしてください。

PPP 消灯

リンクが未確立です。ステップ4を確認してください。

WAN 消灯

相手装置とリンク未確立です。接続を確認してください。

LAN(Link/Act) 消灯

パソコンとリンク未確立です。接続を確認してください。



VoIPを設定する

Webブラウザ(Internet Explorerなど)のアドレスバーに[192.168.0.1] (半角文字)と入力し、[Enter]キーを押す。【Step3を参照】

ここでクリックすると設定画面にログインします

をクリックすると「ユーザー名」「パスワード」の入力を求められる。
ユーザー名[admin]、パスワード[admin]と入力し、VoIP-TAにログイン。
【Step3を参照】

Web画面の左側にあるフォルダから、[VoIP簡単設定]-[ユーザー設定]をクリック。(右設定画面が表示。)

VoIPユーザーID	<input type="text"/>
VoIPユーザーパスワード	<input type="password"/>
VoIPユーザーパスワードの確認	<input type="password"/>
VoIPサーバ接続方式	ドメイン名
VoIPサーバIPアドレス	<input type="text"/>
VoIPサーバドメイン名	<input type="text"/>
VoIPドメイン名	<input type="text"/>
VoIP電話番号	<input type="text"/>
PSTNの市外局番	<input type="text"/>
VoIP発信者番号通知	有効
TEL-URL/SIP-URL	TEL-URL
回線選択	PB
PSTN自動再発呼	有効
電話機への発信者番号表示	Phone 1 無効
	Phone 2 無効

保存

「VoIPユーザーID」を入力。

プロバイダから通知された「VoIPユーザーID」を入力してください。
ご不明な際は、ご契約いただいたプロバイダへお問い合わせください。

「VoIPユーザーパスワード」と「VoIPユーザーパスワードの確認」を入力。
ご注意: 入力するアルファベットの**大文字 / 小文字**にご注意ください。
パスワードに入力した文字は、『 』または『 * 』で表示されます。
パスワードは確認のための再入力を忘れず入力してください。

「VoIPサーバ接続方式」でドメイン名方式を選択。(初期値:ドメイン名)

「VoIPサーバドメイン名」(VoIPサーバ名)を入力。

「VoIPドメイン名」(サービスドメイン)を入力。

「VoIP電話番号」をお客様の電話番号(市外局番を含めて)入力。

ご注意: 電話番号は、[-](ハイフン)や[()](カッコ)を入れず、数字だけを入力してください。

「PSTNの市外局番」をお住まいの地域に該当する市外局番を入力。

「VoIP発信者番号通知」の有効 / 無効を選択。(初期値:有効)

「TEL-URL」が選択されているかを確認。(初期値:TEL-URL)

「回線選択」のPB / 10pps / 20ppsを選択。(初期値:PB)

「PSTN自動再発呼」においてPSTNへ自動的に接続するかを選択。(初期値:有効)

「電話機への発信者番号表示」を各ポート有効 / 無効を選択。(初期値:無効)

以上の設定が終わりましたら、

画面右下にある“保存”ボタンをクリック。【Step5参照】

数秒後に「再起動中……」の画面が表示され、約15秒後にログイン画面

が表示されたら、「設定内容の保存と再起動」は完了。

VoIP-TA前面の「Status」ランプの点灯を確認。(点灯していれば正常です。)

VoIP通話を行うためには、プロバイダのVoIPサーバに登録される必要があります。

通常、IPネットワークへの接続が正常であれば数分以内に登録されVoIP-TA前面の

「Status」ランプが点灯します。数分以内に「Status」ランプが点灯しない場合、設定内容を再度確認してください。

以上で設定は終了です。

通話中のVoIP-TAのランプ表示およびガイダンス音

VoIP-TAは、VoIP通話とPSTN通話とを自動で切り替えます。下記状態時において電話機の受話器からガイダンス音でお知らせします。

通話状態	ランプのつき方			受話器によるガイダンス音
	Status/Alarmランプ	Phone1(PSTN)ランプ Phone2(PSTN)ランプ	Phone1(Hook/Ring)ランプ Phone2(Hook/Ring)ランプ	
VoIPサーバ未登録時の待受 (この状態ではVoIP通話のご利用はできません)	点滅	点灯	点灯	なし
VoIPサーバ登録時の待受 (VoIP通話可能)	点灯	消灯	消灯	なし
VoIP通話 (IP IP通話)	点灯	消灯	点灯	なし
VoIP通話 (IP PSTN通話)	点灯	点灯	点灯	ブ
PSTN PSTN通話 (ルーティングテーブル使用時)	点灯	点灯	点灯	ブブ
プリフィックスダイヤル通話時	点灯	点灯	点灯	なし

プリフィックスダイヤルとは、“0000”+ 電話番号をダイヤルしてPSTN発信する機能のことです。

注意事項ガイダンスについて

通話状態	ランプのつき方			受話器によるガイダンス音
	Status/Alarmランプ	Phone1(PSTN)ランプ Phone2(PSTN)ランプ	Phone1(Hook/Ring)ランプ Phone2(Hook/Ring)ランプ	
VoIPシステムエラー	点灯	点灯	点灯	ビビ
VoIPサーバとの接続障害	消灯	点灯	点灯	ビビビ
VoIP認証エラー	点滅	点灯	点灯	ビビビビ

